# 月 28 日

旧胆沢高校グラウン

くわ入れを行う小沢昌記市長

出席し、工事の安全を願いドで行われ、関係者終5万 人

沢分署の

| 分署の工事安全祈願祭が6| 移転新築する水沢消防署胆

消防署胆沢分署の

I

事安全祈願祭

行ってみたい」

と語りました

ことをよく理解できた。

食べるが、

特にグ

ラタンが

好

「長沼町と鉄之助さんの

を図ることを決定しました。

佐藤美月さん(水沢南小6年)交流を深めました。参加した

理に気を配って て家庭を守り、

「好き嫌

なく何でもよく

ちや学校を紹介するなどして

小学校を訪問し、れています。一行

一行は、

西長沼

んと結婚。

2男2女をもうけ

20代で5歳年上

の故・公平さ

の気持ちをのべているというりの人に助けられた」と感謝

お互いのま

孫8人、

した。

結婚後は専業主婦とし ひ孫7人に恵まれま

家族の健康管

績に触れることを目的に行わ市出身の吉川鉄之助さんの功 市出身の吉川鉄之助さんの功開拓の父として讃えられる本

お手、

伝いとして働きました。 小学校卒業後は親戚宅で

> とだと言 ためず、

ます。

「親戚や周

小路=は同区字下

- 小路に生ま

路に生ま

きなことをす

レスを

を食べ、

長寿の

自然のまま生きるこ

及川久子

を全安心をより確かなものにしたい。西には焼石岳もあり、 なりポートの警覧 動ができる」 できる」とあい 11 ま



土産品を手渡す参加者代表(右)



記念品を受け取る久子さん

亀吉さんは木材運搬の仕事を 人、ひ孫9人に恵まれました。 婚。5男4女をもうけ、孫12 とうございました」とはっきると「皆さん、本当にありがると「皆さん、本当にありがいるという。 をしたそうです。 まれ、 も子どもたちに食べさせてく かったため、 里字荒田表=は同区米里で生 りとした声で挨拶しました。 千葉ハツミさん=江刺区米 24歳で同じ米里出身で そうです。子どもが多1人で家事と子育て 自分の食べる分 兵役の期間

### みなみ また 地区会

菅原 英記 ■代表者:会長

■人 口:583人(男290人/女293人)

■世帯数: 156 世帯 ■拠 点:南股地区センター

奥州市民憲章推進協議会が発足

長沼町で交流

一おめでとう!百歳を祝い

2人に記念品

設立総会で会長挨拶をする小沢昌記市長

海道長沼

町を訪

問しました。

2人に記念品を贈り、

満百歳を迎えた

長寿を

と語る

から29日の3日間、四の児童代表11人が

姉妹都市である同町を理解し18回目となる本交流事業は、

(平成24年5月31日現在)

股」と定めました。

南股にあ

『自助、近所(助)、公助』の南

に 4、

る素材を生か

した魅力ある事

魅力を磨く

ご近所の

九

ではカヌー などを行 キャンド

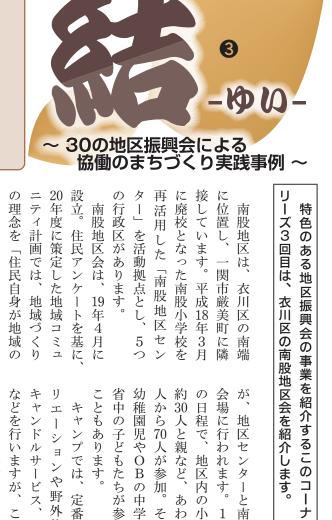
力

ヌ

を下

ろ

工



### ■合同子供会キャンプ

業の一部を紹介します。

地区の子どもたちも参加し、南股カヌーの評判を聞いた他

大歓声を上げていました。

会との共催によるキャンプ毎年7月に、地区内の3子

心してカヌー

同会では、

子どもたちが安 体験や川遊びが



地区の財産、南股川

は、 は、 は、 は、 などで神楽と川内神楽の りや大会などで神楽を見る機 りや大会などで神楽を見る機 会はあるものの、話す場がな いことから、23年12月に南部 がなというという。その 働のまちづくり交付会開催に当たっては、 た。 O

人から70人が参加。 約30人と親など、あ の日程で、地区内の の日程で、地区内の 心して楽しめます。昨年は、伴するので初めての人でも安 こともあります 省中の子どもたちが参加する 幼稚園児やOBの中学生、 キャンプでは、 、ドルサービス、肝試しーションや野外炊飯、 7いますが、こいサービス、 人が乗り、 、地区内の小学生らわれます。1泊2日センターと南股川を 体験が人気。 定番の あわせて60 ここ南股 その他、 大人も同 1 艇  $\nu$ 帰 ています。 できるように、

19年4月に トを基に、

5 つ セン

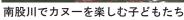
し、必要に応じて整備を行 -について事前に現地を調査-場所や、川べりまでのルー

代表的な伝統芸能の一つで



## ■南部神楽シンポジウム

する5団体が式舞を上演しま地区内2つの神楽をはじめと会場では、基調講演に続き、 をかけ、 話され、 伝承につ ディネ です。 まし パネラーとなった各保存会スカッションが行われました 取り組みなどについて討論し 演目をどうするかなど、神楽 会会員の矢崎木綿子氏をコ 今後も継続して開催する予定 ある神楽に焦点をあて、 代表からは、 その後、 地域の魅力をアップ 課題解決に向けての 同地区の潜在資産で ター の機会となりました いての現状や課題が 後継者のことや に、 大森神楽保存 パネルディ 磨き



神楽の舞を堪能する参加者たち

広報おうしゅう 19

シ